

# 土壌分析診断書

八代市農事研修センター

平成30年5月9日

通し番号 1

No.	町村名	所属等	生産者名
1	鏡町内田		

圃場	土壌・露地/施設	作物	採土日
	非火山灰土・露地	水稲	

## 1.土壌分析結果

A3AA

分析項目		分析値	診断基準値 (下限)～(上限)	レーダーチャート判定 内側から [少ない]-[やや少ない]-[適当]-[やや多い]-[多い]
(単位)				
pH		6.0	5.5 ～ 6.5	
EC (mS/cm)		0.50	0 ～ 0.2	
無機態窒素	アンモニア態 (mg/100g)	1.1	1 ～ 5	
	硝酸態N (mg/100g)	0.5	1 ～ 5	
	無機態N (mg/100g)	1.6	1 ～ 5	
有効態リン酸 (mg/100g)		5	10 ～ 20	
交換性陽イオン	石灰 (mg/100g)	315	170 ～ 260	
	苦土 (mg/100g)	52	10 ～ 30	
	カリ (mg/100g)	52	10 ～ 30	
CEC (me/100g)		15.7	( 15 ～ 30 )	
陽イオン飽和度 (%)		95	60 ～ 80	
石灰飽和度 (%)		72	40 ～ 60	
石灰/苦土比 (比)		4.3	3 ～ 8	
苦土/カリ比 (比)		2.4	2 ～ 5	
腐植 (%)		3.1	3 ～	

## 2.コメント

分析項目中、[pH] [窒素] [CEC] [石灰/苦土比] [苦土/カリ比] [腐植] は適正です。

\* EC(土壌中の養分濃度)がやや高いので、これ以上高くならない管理が必要です。(ECと関係が深い硝酸態窒素は少なく、陽イオン含量が高くなっています。)

\* 土壌のCEC(保肥力)は平均的な土壌です。

\* 窒素は適当です。基準通り施肥して下さい。(堆肥等で地力をつけたいところですが、カリが多いので注意が必要です。)

\* リン酸はやや少ない状態です。施肥基準量を施用するとともに、リン酸成分量で15kg施用してください。(施肥効率を約3割[非火山灰土壌]としています。)

\* カリは過剰に残っていますので施肥基準の5割以上減肥し、堆肥の投入は2～3作控えましょう。

\* 石灰はやや過剰です。石灰質資材は必要ありません。(pHは適正。)

\* 苦土はかなり過剰です。1～2作は苦土資材の投入を控えましょう。

交換性陽イオン(石灰・苦土・カリ)のバランスは適当ですが、上記のコメントを参考に各含量を適正にすると改善されます。

### 【土壌改良資材の施用例】(kg/10a)

種類	資材名	施用量	(リン酸)	(石灰)	(苦土)	備考
リン酸質資材	重焼りん(Mg=0)	40	18	4	0	
石灰質資材	(不要)	0	0	0	0	
苦土質資材	(不要)	0	0	0	0	
合計			18	4	0	

(注) 施肥例は一般的な資材の場合です。使用する資材の成分に応じて施肥量を決定して下さい。